

出張ボランティア教室（福祉体験教室）申込書

社会福祉法人  
府中市社会福祉協議会  
事務局長

次のとおり、出張ボランティア教室（福祉体験教室）について申込みします。

平成 年 月 日

出張ボランティア教室受付可否回答希望期限 平成 年 月 日までに回答希望

団体名		対 象	
担当者		人 数	全体 名 *分かれ年代も
連絡先	TEL FAX メール		
目 的			
希望内容	該当するものに○をお願いします。 ①車イス体験 ② ガイドヘルプ体験 ③ 高齢者疑似体験 ④機材貸出し ⑤ 講演（ボランティアについて）⑥ 点字体験 ⑦ 手話体験 ⑧ 視覚障害者講演 ⑨ 認知症サポーター養成講座 ⑩その他（ ）		
希望日時	( 番 )	( 番 )	
※できれば候補日を複数あげてください	第1希望 年 月 日 ( )	第1希望 年 月 日 ( )	
	第2希望 年 月 日 ( )	第2希望 年 月 日 ( )	
	第3希望 年 月 日 ( )	第3希望 年 月 日 ( )	
	時 分 ~ 時 分	時 分 ~ 時 分	
	( 番 )	( 番 )	
	第1希望 年 月 日 ( )	第1希望 年 月 日 ( )	
第2希望 年 月 日 ( )	第2希望 年 月 日 ( )		
第3希望 年 月 日 ( )	第3希望 年 月 日 ( )		
	時 分 ~ 時 分	時 分 ~ 時 分	
場 所	(晴天時)	(雨天時)	
打合せ希望日時 (ふれあい会館)	年 月 日 ( ) 時~		
その他 連絡事項			

※注意事項※

他団体や地域の方の協力を得る必要がある内容の場合、日程調整に時間がかかる場合や事前の打合せが必要な場合がございますので、1か月前までにご相談くださいますようお願いいたします。  
対応スタッフの調整如何によっては実施できない場合もありますのでご容赦ください。

## 「出張ボランティア教室」実施までの手順

1 ボランティアのはなし、車いす、ガイドヘルプ（アイマスク）、高齢者疑似体験などの場合  
※府中市社会福祉協議会職員と近隣福祉施設の職員が指導にまいます。

1 日程の調整を行います。（詳細を伺いたいで、電話にてご相談ください）

↓ ※実施予定日の1か月以上前までにご相談ください。  
実施日程の希望日を2～3日程度と事前打合せの希望日をお伝えください。  
出張ボランティア教室(福祉体験教室)申込書を提出してください。  
※申込書に実施可否の回答期日をご記入ください。

2 事前打合せの実施（日程調整の上、府中ボランティアセンターにて行います）

↓ ※体験に関する参考資料などがございましたら、ご用意ください。  
機材貸出しの際には、別紙借用書の提出をお願いします。

3 最終調整、確認など（実施にあたって、準備の必要なものなどを確認します）

↓

4 実施当日

体験プログラム例（体験時間の目安）→都合で時間が取れない場合は別途ご相談ください。

- ・体験方法の説明（15分）
- ・1回あたりの体験時間は1人あたり10～15分程度
  - 車いす→2～6人1組で60～90分
  - ガイドヘルプ→2～4人1組で60～90分
  - 高齢者→2～6人1組で60～90分
- ・体験のまとめ（10分）

※体験で使用する備品は、こちらでご用意いたします。（各備品10組程度まで用意可）

2 障害のある方のはなし、点字体験、手話体験、認知症サポーター養成講座などの場合

※関係機関から指導にまいます。（講師料がかかる場合がありますので関係機関にご確認ください）

1 日程の調整を行います。（電話にてご相談ください）

↓ ※実施日の1か月以上前にご相談ください。  
実施日程の希望日を2～3日程度をお伝えください。  
出張ボランティア教室(福祉体験教室)申込書を提出してください。

2 事前打合せの実施

↓ ※電話やFAX等を中心に直接関係機関と連絡を取ります。（学校担当者）

3 最終調整、確認など（実施にあたって、準備に必要なものなどを確認します）

↓

4 実施当日

体験プログラム例（体験時間の目安）→都合で時間が取れない場合は別途ご相談ください。

- ・1回あたりの体験時間
  - 障害のある方のはなし→45分～90分
  - 手話体験・点字体験→45分程度
  - 認知症サポーター養成講座→45分～90分

※体験で使用する備品は各学校にてご用意ください。（資料の原本を事前に送ります）  
（点字器は40台ボランティアセンターで貸出できます。別途ご相談ください。）

## 『体験教室』依頼にあたってのお願い

- 中学生以下が体験する場合は、原則大人の体験協力者(主に教員や保護者)が必要になります。
- 体験教室実施にあたり、事前学習と振り返り学習の実施をすすめています。
- 体験はできるだけ地域での体験をすすめています。
  - ・体験の行動範囲の中で、事前に体験実施のあいさつが必要と思われるところ(店舗など)へは学校より連絡をしておいてください。
  - ・体験内容によって晴天時と雨天時のプログラムを計画して下さい。
  - ・ガイドヘルプ体験をする場合、体験参加者の目とアイマスクの間にティッシュなどを事前に用意し衛生面を配慮してください。
  - ・高齢者疑似体験は、広いスペースの確保、体験時に使用する消耗品などの用意等が必要(別途資料あり)となります。また、体験時間が他の体験より多く必要となります。
- 体験当日は府中市社会福祉協議会職員および近隣福祉施設の職員が指導いたします。各グループに配置されますので、当日は各グループの担当を中心に行動し、次のことにご協力をお願いいたします。
  - ・体験時間や場所等の最終確認のため、体験協力者(主に教員や保護者)は開始時刻5分前の集合をお願いします。
  - ・体験協力者には事前に次のことをご連絡ください。
    - ①子どもが体験参加者の場合、安全面にご配慮ください。  
(ふざけたり、遊んだりしないように)
    - ②グループでの体験の場合、グループの担当者の指示に従い、サポートをお願いします。  
(グループにより体験範囲は異なります、体験参加者が危険な行動をした場合は厳しく注意いたします)
    - ③『福祉体験の趣旨(下記)』を説明し、サポートにあたり共通の理解をお願いします。

『福祉体験の趣旨』…介助の仕方等の技術を習得してほしい面もありますが、子どもが体験をする場合は、優しい心を持ってほしいということがあります。

ボランティアセンターでは次のようなことを意識して体験をすすめています。

○当事者の立場に立って行動することにより、相手の気持ちを理解する。

注意：決して不便・恐怖ばかりをあおってはいけません。

↓

○自分にはどんな介助(サポート)ができるのかを考える。

注意：ただし、障害者や高齢者を特別扱いする体験ではありません。

↓

○手助け(ボランティア)の必要性を理解してもらう。

注意：“困っているから手を貸す”ことに健常者も障害者も関係ありません。